

1. 下水道の役割とあゆみ

もしも、下水道がなかったら…??の巻



もしも下水道がなかったら
どんなことになるのか
見てみるのじゃ。

Dr.パイプ!
大変なことにな
っているよ!!



下水道によって我々の
暮らしは守られているのじゃよ!

下水道は
なくてはならないもの
なんだね!!



大雨が降ったら…



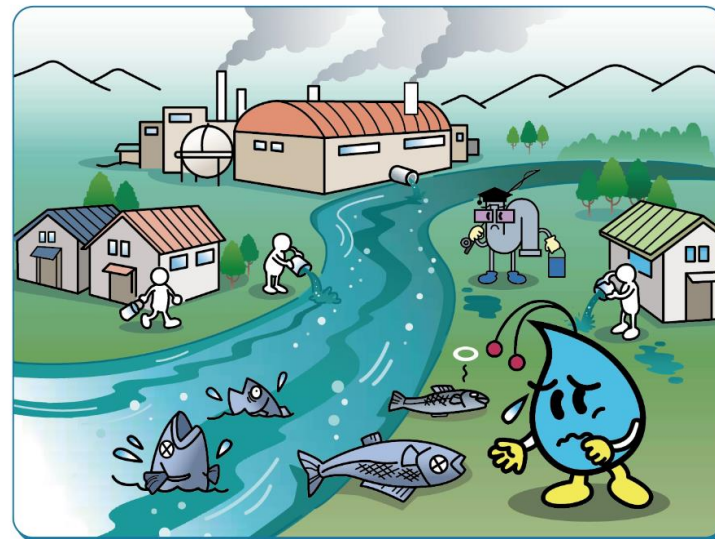
大雨による被害状況(昭和56年)



提供:札幌市写真ライブラリー

下水道には、雨水を身の周りから排除する
役割があります。
都市化が進み、地面がアスファルト等で覆
われたことで地下に雨水が浸透しづらくなり、
下水道の重要性は高まっています。

工場や家庭の排水の処理は…



汚れたドブ川(昭和48年)



提供:札幌市写真ライブラリー

汚れた水を身のまわりに放っておくと生活
環境が不衛生になり、伝染病の原因にもなり
ます。また、汚れた水をそのまま川や海に流せ
ばそこにすむ動物や植物に悪い影響を与えて
しまうでしょう。

札幌市の下水道のあゆみ

浸水対策と公衆衛生

明治初期に、融雪時の浸水対策として市街地に小規模な排水路の整備を始めました。その当時、雑排水は川へ流し、し尿は各家に溜め置き(汲み取り)する方法が一般的でしたが、大雨の時には、雨水も汚れた水も混じって街路にあふれる不衛生な状態でした。そして、本格的下水道の必要性が高まって行きます。

昭和初期の下水道管
埋設工事の様子
(札幌市中央区)



提供:札幌市写真ライブラリー

高度経済成長期

「流す」から 「処理する」下水道へ

戦後の急速な都市化に伴い、川は汚れ、衛生環境の悪化が進みました。この状況に対応するため、昭和40年代には市内で7ヶ所の下水処理場の運転を開始し、水質の改善を進めました。



汚れがひどくなり一時は魚がすめない川となつた豊平川に昭和54年には25年ぶりにサケが戻るなど水質が改善されました。

地球環境のために

今日では、温暖化をはじめとする地球環境問題への対応が緊急の課題となっています。下水道事業においても、省エネルギー、資源の有効活用など環境を守る取組みを進めて行きます。



コラム ～ 下水道の始まり ～

下水道は、集落の周りに溝を掘り、雨水排水路や稲作用の用水路に用いたことが起源といわれています(環濠集落(下の図))。

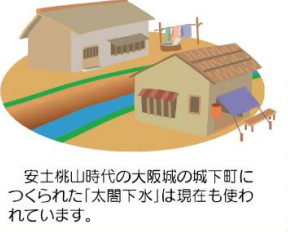
日本では、古くからし尿を肥料として使い、直接川に流すことは少なかったのですが、明治時代になると生活様式も変わり、人が都市に集まるようになると大雨で街が水浸しになったり、コレラなどの伝染病がはやりました。

そこで、明治17年(1884年)、日本で初めての近代下水道が東京でつくられたのです。

かんきょうな環濠集落



太閤下水



安土桃山時代の大坂城の城下町につくられた「太閤下水」は現在も使われています。